

## 第2次健康りっとう21（実績照会）

資料4-1

### 【目指す方向 行動目標】

○効果的な歯みがきの習慣を身につけよう。

○6024（ロクマルニイヨン：60歳で24本以上の自分の歯がある）、8020（ハチマルニイマル：80歳で20本以上の自分の歯がある）を実現し、自分の歯でおいしく食べよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

### 4. 歯・口腔の健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・歯の健康に関するイベントの開催	各種の歯の健康にかかわるイベントの開催、協力を行うことを通じて、市民の歯の健康に関する関心と理解を深めていきます。 ・県民フォーラム歯ートフル淡海 ・かむカムフェスタ ・親子のよい歯のコンクールへの協力	歯科医師会	●かむかむフェスタの開催 6月2日 ●歯ートフル淡海の開催 ●よい歯の健康老人コンクール協力 ●栗東市親と子のよい歯のコンクール協力	かむかむフェスタの開催 6月9日 ●歯ートフル淡海の開催(作文コンクールや老人コンクールの表彰式などを行なっている) ●よい歯の健康老人コンクール協力	B	むし歯のない子どもの割合の増加 3歳児 81.5%(H23データ) 12歳児 70.5%	むし歯のない子どもの割合の増加 3歳児 85.9%(R2データ) 12歳児 70.8%	A B	↗
・地域のイベント等での啓発	歯や口腔の健康について研修を受け、フェスティバル等で啓発していきます。	健康推進員連絡協議会 薬剤師会	●かむカムフェスタの開催	健康推進員連絡協議会 ●実施なし	D				↗
・健康づくり啓発への協力	医療機関や商店などが集まる民間の公共的施設において、健康づくりの啓発や情報提供を実施します。	医師会 歯科医師会 あなたの健康ささえ隊協力事業所	●草津栗東医師会提供番組、FM草津「草津栗東いきいきダイジェスト」は平成30年度で終了するため、引き続き草津栗東医師会ホームページを通じて健康、医療の情報を提供する。 ●FM滋賀「stile!」番組中の「HAHAHA!の話」コーナーにてリスナーの質問に回答:月2回程度(県医師会)	医師会 ●草津栗東医師会ホームページを通じて健康、医療の情報を提供した。  歯科医師会 ●FM滋賀「stile!」番組中の「HAHAHA!の話」コーナーにてリスナーの質問に回答:月2回程度(県医師会)	B				
・糖尿病と歯周病に係る医科・歯科連携事業	医師会と歯科医師会が連携して、歯周病・糖尿病対策を推進します。	医師会 歯科医師会	●糖尿病と歯周病にかかる医科・歯科連携事業の実施	医師会 ●糖尿病と歯周病にかかる医科・歯科連携事業については実施できず。  歯科医師会 ●糖尿病と歯周病にかかる医科・歯科連携事業の実施	D  B	60歳代で24本以上の自分の歯を有する人の割合の増加 60歳代 45.5%	60歳代で24本以上の自分の歯を有する人の割合の増加 60歳代 49.7%	A  A	↗  ↗

## 第2次健康りっとう21（実績照会）

資料4-1

### 【目指す方向 行動目標】

○効果的な歯みがきの習慣を身につけよう。

○6024（ロクマルニイオン：60歳で24本以上の自分の歯がある）、8020（ハチマルニイマル：80歳で20本以上の自分の歯がある）を実現し、自分の歯でおいしく食べよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

### 4. 歯・口腔の健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・定期的な歯科検診、歯科受診の啓発	市内薬局において、生活習慣病の人に対して、歯周疾患との関連の説明、歯科医院紹介カードの配付などを行い、定期的な歯科検診、歯科受診の必要性について啓発を行います。	薬剤師会 歯科医師会	●定期歯科受診の必要性についての啓発（糖尿病患者に加え歯科に関する副作用がある薬剤を投与している方へ定期歯科受診を啓発）	●定期歯科受診の必要性についての啓発（糖尿病患者に加え歯科に関する副作用がある薬剤を投与している方へ定期歯科受診を啓発）  ●薬剤師会 各薬局にて生活習慣病、主に糖尿病患者向けに啓発を随時行っています	D				
・歯みがきの啓発	幼稚園・保育園・幼稚園などでエプロンシアターを実施し、歯みがきの啓発を行います。	健康推進員連絡協議会	●保育園、幼稚園等でエプロンシアターや、食育紙芝居を実施	●実施なし	D	むし歯のない子どもの割合の増加 3歳児 81.5%(H23データ) 12歳児 70.5%	むし歯のない子どもの割合の増加 3歳児 85.9%(R2データ) 12歳児 70.8%	A B	↗
・昼食後の歯みがきの推進	給食後の歯みがきの定着を図る活動を推進します。	幼稚園・保育園・幼稚園 市立小中学校	●各年齢に応じた歯磨き指導を行い、食後の歯磨きの定着につなげた。また、3～5歳児を中心に歯科指導を行い、虫歯の話や歯磨きの大切さについて伝えるとともに、給食後は一人一人にその都度声をかけ、丁寧に磨けるよう指導する。 小学校 ●歯みがきカレンダーを配付し、よく磨けたクラスを表彰する ●毎月8日「ハンカチ・歯みがきの日」と称し、児童委員会で持参率と実施率を調べて発表。 ●児童保健委員会で下学年への歯みがき指導 ●ライオン歯みがき大会への参加(6年) ●総合保健専門学校生の1時間の歯科指導を実施する。(11月) ●5・6年生の歯肉炎個別指導を2回実施する。(6月11月) ●放送委員会の取組みとして給食終了5分前にはみがきの歌を流した ●歯科医師会歯の標語コンクールに参加する ●給食後の歯みがき調査(6月・11月) 中学校 ●委員会活動での啓発(歯みがきポスターの作成、歯みがき調査の実施等) ●給食開始と合わせて、昼食後の歯みがきの啓発	●幼児課 各年齢に応じて歯みがきの大切さや、歯によい食べ物など歯の健康について考える機会をもった。食後は丁寧に歯磨きをしたり、うがいをしたりするようにした。 小学校(養護教諭部会) ●各年齢に応じた歯磨き指導を行い、食後の歯磨きの定着につなげた。また、3～5歳児を中心に歯科指導を行い、虫歯の話や歯磨きの大切さについて伝えるとともに、給食後は一人一人にその都度声をかけ、丁寧に磨けるよう指導する。 ●歯みがきカレンダーを配付し、よく磨けたクラスを表彰する ●毎月8日「ハンカチ・歯みがきの日」と称し、児童委員会で持参率と実施率を調べて発表。 ●児童保健委員会で下学年への歯みがき指導 ●ライオン歯みがき大会への参加(6年) ●総合保健専門学校生の1時間の歯科指導を実施する。(11月) ●5・6年生の歯肉炎個別指導を2回実施する。(6月11月) ●放送委員会の取組みとして給食終了5分前にはみがきの歌を流した ●歯科医師会歯の標語コンクールに参加する ●給食後の歯みがき調査(6月・11月) 中学校 ●委員会活動での啓発(歯みがきポスターの作成、歯みがき調査の実施等) ●給食開始と合わせて、昼食後の歯みがきの啓発	B				

## 第2次健康りっとう21（実績照会）

資料4-1

### 【目指す方向 行動目標】

○効果的な歯みがきの習慣を身につけよう。

○6024（ロクマルニイヨン：60歳で24本以上の自分の歯がある）、8020（ハチマルニイマル：80歳で20本以上の自分の歯がある）を実現し、自分の歯でおいしく食べよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

### 4. 歯・口腔の健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・歯科健診結果の活用	歯科健診を通じて、自らの歯の健康状態を把握し、歯の健康に対する意識を高めていきます。	幼稚園・保育園・幼稚園 市立小中学校	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歯科受診率向上のために未受診者に対して10月の個別懇談会時に再勧告を行う。</li> <li>●通信等で歯科検診結果や歯科受診率を報告、むし歯、歯周病予防の啓発。</li> <li>●年2回歯科受診のおすすめを配付し、早期治療を啓発。</li> <li>●受診後の連絡がなかった場合、前期末の個別懇談会で受診状況を確認し、未受診の場合は受診を勧める。</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歯科検診の結果が必ず、保護者に渡るように、三者懇談時に全生徒に配布する。</li> <li>●歯科健診前に保健便りを配布</li> </ul> <p>幼稚園・保育園・幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歯科健診結果の通知し、歯科受診をすすめる。</li> <li>●園だよりや、ほけんだよりで虫歯予防の啓発をする。</li> </ul>	<p>小学校(養護教諭部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歯科受診率向上のために未受診者に対して10月の個別懇談会時に再勧告を行う。</li> <li>●通信等で歯科検診結果や歯科受診率を報告、むし歯、歯周病予防の啓発。</li> <li>●年2回歯科受診のおすすめを配付し、早期治療を啓発。</li> </ul> <p>中学校(養護教諭部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歯科検診の結果が必ず、保護者に渡るように、三者懇談時に全生徒に配布する。</li> <li>●歯科健診前に保健便りを配布</li> </ul> <p>幼児課</p> <p>歯科健診後は速やかに結果を通知し歯科受診をすすめた。 保護者向けに紙面や配信で定期的な歯科受診のすすめを行い、予防歯科への関心につなげた。</p>	B				
・学校歯科保健マニュアルの改正、学校歯科保健指導の充実	学校歯科保健マニュアルの改正を行い、学校でのむし歯予防、歯周病予防のための歯科指導の充実を図ります。	市立小中学校	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●夏休みに家庭におけるカラーテスターを実施</li> <li>●歯と口の健康チェックシートの実施。</li> <li>●児童委員会でよい歯の標語を全校から募集</li> <li>●養護教諭や総合保健専門学校学生等による発達段階に沿った歯科保健指導の実施</li> <li>●6年生が全国小学生歯みがき大会への参画</li> </ul>	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●夏休みに家庭におけるカラーテスターを実施</li> <li>●歯と口の健康チェックシートの実施。</li> <li>●児童委員会でよい歯の標語を全校から募集</li> <li>●養護教諭や総合保健専門学校学生等による発達段階に沿った歯科保健指導の実施</li> <li>●6年生が全国小学生歯みがき大会への参画</li> </ul>	B				
・歯、口腔の健康に関する啓発の推進	出前トーク「口から始める健康づくり」を実施し、歯と口腔の健康に関する啓発や相談を行います。	長寿福祉課 歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栗東市高齢者介護予防出前トーク：口から始める健康づくり</li> <li>●お口の健康講座「健康長寿はお口から」開催</li> </ul>	<p>長寿福祉課・歯科医師会</p> <p>出前トーク：口から始める健康づくり 4団体実施</p>	B	60歳代で24本以上の自分の歯を有する人の割合の増加 60歳代 45.5%	60歳代で24本以上の自分の歯を有する人の割合の増加 60歳代 49.7%	A	↗
					B	定期的に歯科検診を受けている人の増加 全体 22.0%	定期的に歯科検診を受けている人の増加 全体 35.6%	A	↗

## 第2次健康りっとう21（実績照会）

資料4-1

### 【目指す方向 行動目標】

○効果的な歯みがきの習慣を身につけよう。

○6024（ロクマルニイオン：60歳で24本以上の自分の歯がある）、8020（ハチマルニイマル：80歳で20本以上の自分の歯がある）を実現し、自分の歯でおいしく食べよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

### 4. 歯・口腔の健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
	広報「りっとう」やライフステージにおける健康づくり啓発チラシの配布等により、歯と口腔内の健康に関する啓発を行います。	健康増進課	●健康づくりのための「プロジェクトW」の配付 ●啓発ポスターの配付 ●広報掲載 ●ライフステージにおける歯の健康づくりリーフレットを作成し関係機関等で共有	●健康情報チラシ「プロジェクトW」や啓発ポスターの配布 ●広報に歯科に関する啓発記事(特集記事)を掲載(8月号) ●10月9日にさくらで予防歯科講演会を開催。参加者:約450名 ●はたちのつどいにて、若い世代へ予防歯科に関する啓発チラシの配布	A				
・口腔機能向上、栄養改善	ケアプランに基づいて、短期集中訪問型サービス事業を実施します。歯科衛生士・管理栄養士が訪問し(最長6か月)、口腔機能向上、栄養改善を行い、セルフケアの指導を実施します。  ※口腔機能が低下していることで低栄養につながる場合もあるが、口腔機能の低下によらない低栄養もあるため、この欄から「栄養改善、管理栄養士」を削除したい。管理栄養士による訪問栄養指導はシート1に記入	長寿福祉課	●短期集中訪問型サービスC(口腔)事業  上記事業のケアマネへの啓発を実施	短期集中訪問型サービスC(口腔)事業 利用実績:0 ケアマネ連絡会で説明実施	C				
・かみかみ百歳体操の普及・啓発 18:2818:24	食べる力や、飲み込む力をつけるため口の周りや顔の筋肉を動かす「かみかみ百歳体操」の普及・啓発を行います。	長寿福祉課	●いきいき百歳体操実践団体に「かみかみ百歳体操」の普及・啓発を実施。	いきいき百歳体操実践団体のうち44団体で「かみかみ百歳体操」も実施されている。	B				
・定期的な歯科検診、歯科受診の啓発	いきいき百歳体操実践団体へ、定期的な歯科検診、歯科受診の必要性について啓発します。	長寿福祉課	●いきいき百歳体操実践団体へ継続支援の訪問時に、歯科衛生士のミニ講座や、オーラルディアドコの検査を団体が希望された場合に併せて啓発	歯科衛生士によるミニ講座:3団体 オーラルフレイルチェック(基本チェックリスト):27団体 オーラルディアドコキネシス:2団体	B				
・節目歯科検診の実施	国民健康保険加入者に対する節目歯科検診(令和3年度より対象年齢を40・50・60・70歳に変更)を実施します。	保険年金課	●令和3年度より対象年齢を40・50・60・70歳に変更し、令和5年度も同様で実施する。	計画通り実施し、令和5年12月末で45人受診し、令和6年3月末は54人受診見込である。				A	↗
								A	↗

## 第2次健康りっとう21（実績照会）

資料4-1

### 【目指す方向 行動目標】

○効果的な歯みがきの習慣を身につけよう。

○6024（ロクマルニイオン：60歳で24本以上の自分の歯がある）、8020（ハチマルニイマル：80歳で20本以上の自分の歯がある）を実現し、自分の歯でおいしく食べよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

### 4. 歯・口腔の健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・後期高齢者に対する歯科健康診査の実施	75歳以上の後期高齢者に対する節目歯科健康診査(当該年度内76歳又は81歳対象)を実施します。	滋賀県後期高齢者広域連合 歯科医師会	●後期高齢者歯科健診受診者の健診実施	●歯科医師会 計画通り実施できた。	B				
・歯科保健指導の充実	滋賀県立総合保健専門学校と連携して歯科保健教育実習を市内小学校で受け入れ、歯科保健指導の充実に図ります。	学校教育課	●「虫歯予防デー」を中心に、年間を通して虫歯や歯周病の予防、食後の歯磨き指導を実施。 ●滋賀県立総合保健専門学校と連携して、歯科保健教育実習を市内9小学校で受け入れ、歯磨き指導等歯科保健指導の充実に図る。(11月) ●口腔衛生企業主催の「全国小学生歯みがき大会」に小学校5年生が参加。(6月)	●「虫歯予防デー」を中心に、年間を通して虫歯や歯周病の予防、食後の歯磨き指導を実施した。 ●滋賀県立総合保健専門学校と連携して、歯科保健教育実習を市内9小学校で受け入れ、歯磨き指導等歯科保健指導の充実に図った。(11月) ●口腔衛生企業主催の「全国小学生歯みがき大会」に小学校5年生が参加した。(6月)	B	むし歯のない子どもの割合の増加 3歳児 81.5%(H23データ) 12歳児 70.5%	むし歯のない子どもの割合の増加 3歳児 85.9%(R2データ) 12歳児 70.8%	A B	↗
・乳幼児・保護者歯科健診の実施と啓発	乳幼児・保護者歯科健診により、むし歯や歯周病予防の啓発を実施します。	健康増進課 こども家庭センター	●歯科保健専門委員会の開催 ●歯科保健専門委員会にて、R3年度に実施したアンケートの評価及び保護者への歯科啓発方法へについて検討予定。 ●乳幼児・保護者歯科健診の実施と啓発	健康増進課 ●栗東市歯科保健専門委員会 8月31日、10月19日開催。「最先端のむし歯予防」について学び、各関係機関と共に歯科保健の取り組み状況について協議や第3次健康りっとう21計画について協議を行った。 こども家庭センター 幼児歯科健康診査実施回数 ・1歳6か月健診 年25回 (保護者歯科健診同時実施) ・2歳6か月健診 年24回 ・3歳6か月健診 年25回 幼児歯科健康診査では、歯科健診の前に問診を実施し、歯科医師・歯科衛生士による個別相談・指導を拡充しました。	B				
・親子のよい歯のコンクールの実施	親子のよい歯のコンクールを開催し、むし歯や歯周病予防の啓発を実施します。	こども家庭センター	●親子のよい歯のコンクールの実施	親子のよい歯のコンクールは中止となり、乳幼児健康診査において歯科医師、歯科衛生士による個別相談・指導を拡充しました。	D				
・乳幼児の歯に関する講座の開催	未就園児親子を対象とした子育て講座として、歯磨きの開始時期、方法、虫歯の話、噛むことの大切さなどを伝え、歯に対する関心を高める。	子育て支援課	●講座「乳幼児の歯と健康」年1回	歯科衛生士による講座を開催し、未就園児親子を対象に、歯の磨き方や虫歯予防、咀嚼の大切さ等を伝え、歯に対する関心を高めることができました。	B				